

身近な地質スポット 愛知県 蒲州市／「竹島」

今回は、愛知県蒲州市の東部に位置する竹島を紹介します。

竹島は蒲州市の東部沿岸、三河湾にぽっかりと浮かぶ周囲約 680m、面積約 0.019 km²、標高 22m の小さな島で、蒲州市のシンボルとされています。海岸からの距離は約 400m、竹島橋といわれる歩行者専用橋が整備されていて、歩いて島へ渡ることができます。(写真-1 参照)

竹島は全域が日本七弁財天の 1 つとされる八百富神社(竹島弁財天)の境内であり、島全体が「竹島八百富神社社叢」という国指定天然記念物に指定されています。

また、古来より神域とされてきたことから、樹木や草木類の伐採が禁じられてきたため、原生林がそのままの形で残り 65 科 238 種の高等植物の自生が確認されています。



写真-1 「竹島と竹島橋」

竹島橋は縁結びの橋といわれ、カップルで渡る際は、渡りきるまで振り返ってはいけないなどの噂もあるんだとか。



図-1 竹島周辺の地質図

地図の出典：地質図 Navi HP (20 万分の 1 地質図幅)

<https://gbank.gsj.jp/geonavi/geonavi.php#14.34.82002,137.24233>

竹島の地質は、図-1 に示すとおり、前期白亜紀時代の古期領家花崗岩類を主体としています。島の外周に沿って整備された遊歩道で島を一周するとこの露頭、転石を確認することができます。

また、この露頭、転石を注意深く見ると矢穴(石を切り取る為打ち込むくさび跡)や刻印が多く見受けられることが分かります。(写真-2,3 参照)

竹島を含む愛知県南部の三河湾沿岸部は古くから良質な石が採掘されることで有名で、竹島に残る矢穴は名古屋城石垣採石丁場の 1 つであった名残だといわれています。

実際に名古屋城の石垣には多くの花崗岩類が使用されており、竹島の転石に刻まれている刻印は毛利秀就(周防山口藩)のもので、竹島は毛利家の採石丁場であった可能性が高いといわれています。

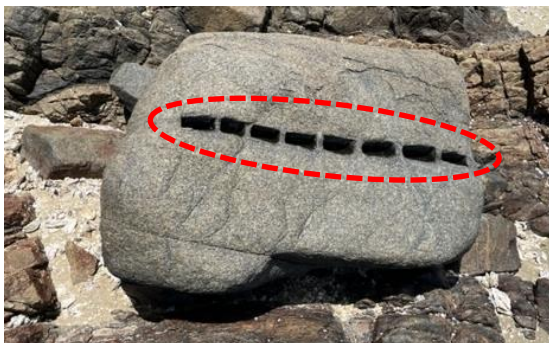


写真-2 「矢穴跡」

くっきりと矢穴の跡が残っています。



写真-3 「刻印」

一引きに○ 毛利秀就の刻印といわれています。

余談ですが、
この地質スポットの近くにはこんなお店がありました。
「麺屋 しずる」



地図の出典：NAVITIME HP <https://www.navitime.co.jp>



★麺屋 しずる★

場所：愛知県蒲郡市神明町 1-1

営業時間：11:00～14:00 18:00～22:00

定休日：年中無休

蒲郡駅前にあるお店です。

今回は、「ラーメン」をいただきました。

二郎系ラーメンで有名なお店らしく、入店時も学生さんや若いお客さんで溢れていました。

にんにくが効いていながらも優しい豚骨スープ、太麺はもちもちとしていて食べ応えのあるラーメンでした。

